



～2024-25年度主題～

国際会長 シャナヴァスカーン (インド) “Together for better world”
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン (香港) “Make a Great Impact”
 東日本区理事 山田公平 (宇都宮C) “Our Future Direction”
 湘南・沖縄部長 久保勝昭 (横浜つるみC) “共に出会い、共に喜びを！”
 クラブ会長 鈴木 茂 “受けるよりも、与えるは幸いなり”

～今年度クラブ役員～

会長 鈴木 茂
 副会長 坂口 直樹
 書記 大野 君枝
 会計 鈴木 恭子
 直前会長 今城 高之
 監事 辻 剛

今月の聖句

しかし、神はイエスを死者の中から復活させてくださったのです。

(使徒言行録13章30節)

4月の本例会

日時 4月25日 (金) 17:30～

場所 かけはし都筑

司会 森山真治

受付・記録 今城高之

～プログラム～

1. 開会点鐘 会長
 2. ワイズソング・信条唱和 一同
 3. 今月の聖句・祈祷 担当主事
 4. ゲスト・ビジター紹介
 5. 会長挨拶 会長
 6. 卓話 山口 直樹さん
東日本区書記
テーマ『老人ホームで学んだこと』
 7. 行事予定等
 8. 活動報告
 - 1) 東日本区
 - 2) 湘南・沖縄部
 - 3) つづきクラブ
 9. YMCA報告 担当主事
 10. Happy Birthday
 - 4/9 鈴木恭子さん
 - 4/17 福島佐世子さん
 11. スマイル・アピール
 12. 閉会点鐘 会長
- ※閉会后ヴァンサンで会食予定

《巻頭メッセージ》

Robert Eskildsen *

先 月の中頃、10数年ぶりにヘンデル作曲のオラトリオ《メサイア》の生演奏を聴く機会がありました。会場は国際基督教大学 (ICU) の礼拝堂で、とても素晴らしい演奏会でした。演奏を聴きながら、さまざまな思いが胸に込み上げてきました。

これまでに聴いた生演奏は短縮版でしたが、今回は全曲が演奏され、3時間以上にわたる壮大なものでした。

私は高校時代、オーケストラ部に所属しており、毎年、合唱団とともに《メサイア》を演奏していました。その経験からこのオラトリオに愛着を持つようになり、今回、久しぶりにこの音楽に触れることで、思春期に初めて耳にしたオラトリオのそれぞれのメロディを思い出し、さまざまな感情が湧き上がってきました。若いころに親しんだ音楽を改めて聴いて、深く感動しました。

《メサイア》に初めて出会った時には、この作品についてほとんど知識がありませんでしたが、年を重ねると、その素晴らしさが少しずつ理解できるようになりました。ヘンデルはこの壮大な作品をわずか24日間で書き上げたそうです。そしてその後、300年近くもの間、世界中で演奏され続けてきました。まさに時代と国境を超えた名作です。

美しい音楽には人の心を動かす不思議な力がありますが、ヘンデルがこの曲を作曲したとき、神様の啓示に導かれていたのではないかと、私は信じています。今回の演奏では、礼拝堂のバルコニー席に座りました。おそらく600人ほどのお客さんが入っていたと思いますが、大きな建物であるにもかかわらず、オーケストラと合唱団の音が礼拝堂全体に響き渡り、空間を完全に満たしていました。壁や天井には綺麗な木製のパネルが施されており、そのおかげで音響も素晴らしく、豊かで温かみのある音が広がっていました。

この礼拝堂は、日本と海外の教会建築に深く関わる2人の建築家によって設計されました。最初の設計を手がけたのは、アメリカ人の宣教師・建築家でもあったウィリアム・メレル・ヴォーリズでした。その後の拡張工事は、アントニン・レーモンドが担当しました。また、1970年代からは、オーストリアから輸入された本格的なパイプオルガンも設置されています。

これまでに体験したことのないような、心に残る演奏会でした。このような美しい礼拝堂で、神様に捧げられた音楽を聴くことができたのは、本当に素晴らしい体験でした。

(* つづきクラブメンバー)



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

例会報告

2025年3月度本例会

今城 高之 記

日時 2025年3月26日 (金) 17:30~19:15
 場所 かけはし都筑
 出席者 今城T・H、大野、坂口、鮫嶋、鈴木K・S
 辻T・Ts、三木、森山
 (ゲスト・ビジター) 山本さん、黄さん、板崎さん
 司会 坂口直樹 受付・記録 今城高之

～議事概要～

1. 開会点鐘 会長
2. ウィズソング・ウィズの信条 一同
3. 今月の聖句と祈祷 森山担当主事
 聖句：「平和があるように」とあいさつしなさい。
 (マタイ 10-12)
4. ビジター・ゲストの紹介と会長挨拶
 会長より、卓話者の山本先生(詳細:プリテン3月号参照)、ゲストの黄さん(横浜YMCA常議員会議長)、ビジターの板崎さん(鎌倉C会長)が紹介された。また、入院治療のため欠席していた今城ワイズの復帰を喜ぶとの発言があった。
 卓話 山本俊正氏 日本YMCA同盟会長 (卓話者略歴は、本プリテン3月号参照)

テーマ：『YMCAのあるべき姿とは — ビジョン2030』
 ～概要～

《自己紹介》学生時代、国際キリスト教青年交換プログラムでインドネシアへ留学。東京YMCAの植田仁太郎さんの「YMCAの仕事は人間を扱う仕事です。大変ですが、やりがいもありますよ」の言葉に引かれて東京YMCAに入職。その後、結婚、渡米して神学校入学。ハワイの教会で牧師を務め、帰国後は関西学院大学の教員(15年間)2022年4月より日本YMCA同盟会長。大阪、東京、横浜の各YMCA会員。

《ワークショップ》

- ◆YMCAのビジョン2030に掲げられている4つの柱、
 ①Community Wellbeing ②Meaningful Work
 ③Sustainable Planet ④Just World を切り口として、夫々が思う2030年のあるべき姿を記載し、グループごとにまとめるワークショップを行った。
- ◆各グループともに発表したが、多様性が尊重されることの重要性についての言及があった。
- ◆時間的制約により議論は他の機会に譲ることとした。

5. 今後の行事

会長により、今後5か月間の主な行事について以下のとおり連絡があった：
 4月8日(火) 4月度事務例会 @夢Café

- 4月25日(金) 4月度本例会
 卓話：山口直樹東日本区書記
 『老人ホームで学んだ事』
- 4月26日(土) 湘南・沖縄部懇親会
 @三浦YMCA・GEV
- 5月10日(土) 北YMCA/ワイズ交流会 @菊名
 「はなの舞」18:00～
- 5月13日(火) 5月度事務例会 @夢Café
- 5月15・17日 富士山例会
 @横浜YMCA富士山GEV
- 6月7日(土) 第28回東日本区大会
 @宇都宮
- 8月1-3日 第31回アジア太平洋地域大会
 @熊本

6. 報告事項

- ①森山担当主事より、5月10日の横浜北YMCAとワイズメンズクラブ(つづき、つるみ)交流会の開催要領について発表があった。
- ②You & コンサート事務局、今城ワイズより、今年のコンサートを11月1日(土)に3月16日に開館したボッシュホールにて開催することが内定した旨報告があった。

7. Happy Birthday

メンバーの辻孝子さん、卓話者の山本俊正さん、ビジターの板崎叔子さん(鎌倉C)の誕生日を祝い、一同Happy Birthdayを唱和。

8. 例会終了後、ゲスト、ビジターを含む有志で最寄りのレストラン(ヴァンサン)にて会食・懇談会を行った。

3月が誕生月



の皆さんと会長

恒例の会食会

More pics, see next page!

“To acknowledge the duty that accompanies every right”



左) 日本YMCA同盟会長 山本俊正さんを卓話者に迎えての本例会

右) 卓話者の山本俊正さん、横浜YMCA常議員会議長 黄 崇子さん、鎌倉クラブ会長 板崎叔子さんを交えての会食会。



例会報告

2025年4月度事務例会

大野 君枝 記

日時 2025年4月8日(火) 17:00～

場所 夢Café

～議事概要～

- 1 開会点鐘 会長
- 2 会長挨拶
- 3 協議事項

①富士山例会・移動例会についての件 (5月16日金～17日土)

- ◆今回は参加者も少なく、特に観光バスの費用がかかるため湘南・沖縄部をはじめ広く案内し募集する。
- ◆バス料金を含め全プログラムに参加の場合は21000円。都筑クラブより補助金を出す。
- ◆横浜YMCA 出発 9時45分。
- ◆横浜市営地下鉄センター南駅前出発10時45分予定。
- ◆富士山YMCA到着後。各プログラム。夕食はバーベキュー、懇親会、宿泊。
- ◆翌日は、道の駅「なるさわ」に寄り、東山荘にて昼食をとることとしたい。

②北YMCA交流会について(5月10日土)

- ◆菊名駅「花の舞」にて開催。北YMCAスタッフ・運営委員、つるみクラブと当クラブが参加
- ◆6時30分開始。
- ◆参加希望者は森山担当主事に申し込む。

③湘南・沖縄部合同懇親会 三浦YMCAにて開催 (4月26日土)

④第28回東日本区大会について(6月7日)申し込み受付中。

⑤第31回アジア太平洋地域大会について (8月1日～3日)

4 今後の行事予定

TKB開催：4月16日、5月21日、6月18日

4/25：4月本例会@かけはし都筑 17:30開会

5/13：5月度事務例会 @夢Café 17:00開会

6/10：6月度事務例会 @夢Café 17:00開会

6/27：6月度本例会@かけはし都筑 17:30開会

5 報告事項

1) 東日本区

東京多摩スマイルCの田中博之ワイズが国際会計選挙に立候補する。支援することとした。

2) 湘南・沖縄部

次期会長研修会が東山荘で開催され、72名の参加があったことが報告された。

その際、来年度の方針、会員数の課題、ファンディングの必要などが話し合われた。

今後ともユース活動に協力し、YMCAと共に、各クラブとの繋がりをもっと大切にして行く。

3) つづきクラブ

●各イベントへの参加を促す。

●今年のYou & I コンサート会場の優先使用申し込みが進んでおり、ボッシュホールでの開催内定した。

●辻ワイズより、毎月お誕生日カードをお送りしている宮城県の「みやま荘」「つばめの壮」よりお便りがあったとの報告があった。

●今回設置されたクラブのLineネットワークの活用について、坂口IT担当より、クラブ会則の運用細則として利用ガイドライン(案)が示された。基本線に合意し、7月のクラブ総会で正式に承認し、適用することとした。

6. 閉会点鐘

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

2025年度が始まり、横浜北YMCAでは、2名の新たな職員を迎え、19名の職員と共にスタートをしました。

4月1日（火）には、横浜北YMCAの全体職場会を開催し、職員が、今年度の働きについて、確認の場を持ちました。開会礼拝では、日本キリスト教団横浜菊名教会の江口裕子牧師より、2025年度の横浜YMCAの基本聖句である、テサロニケの信徒への手紙Ⅱ 2章17節、「どうか、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも良い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるように。」の箇所から、メッセージをいただきました。私たちは神様と共に生き、仲間を信頼し、共に支え合い、感謝する生き方が大切だという言葉が印象に残りました。

横浜北YMCAは2027年に創立50周年を迎えます。開設当初からあるプールの壁面には、聖書の一節が描かれています。その箇所は、マルコによる福音書4章3節～8節「種をまく人のたとえ」です。そこには、神様が、子ども達に寄り添い、語り掛けている場面など、様々な場面が描かれています。絵画の描かれている場所は、プールの出入口付近にある為、私たちが水泳の指導をする時や、会員の方々がプールを利用されている時に目に入ります。

北米のYMCAでも、会館の通路やプール、スタジオ等、人々が集う場所の壁面には、「思いやり/Caring」、「誠実さ/Honesty」、「尊敬心/Respect」、「責任感/Responsibility」の言葉が描かれたフラッグや絵画が掲げられています。

私たちは、日頃から、神様から与えられた御言葉を感じながら、働きをすることができることに感謝し、今年度も、地域の皆様と共に歩んで参りたいと思います。（了）



TKB 報告



つばめの杜保育所では新年度が始まり、新しい子ども達が増えてにぎやかなことと思います。でも、慣れるまでは子ども達も保育者の方々もなにかと大変でしょう。皆様の健康が守られ、笑顔で日々が送られますようお祈りいたします。みやま荘の皆様も春の訪れとともに、ますますお元気に過ごされますよう、お祈りいたします！今年度もどうぞよろしくお祈りいたします！TKB一同

（4月の絵柄はチューリップです。季節を感じてくれれば嬉しいな～！）

（3月のデータ）

例会出席	14名	在籍会員数	16名	各種記録	3月実績	年度累計
メンバー	11名	月間出席者数	11名	スマイル	0円	12,800円
ビジター	1名	メーキャップ	1名	—	—	—
ゲスト	2名	月間出席率	81%	—	—	—



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

余談

右の写真は、「家庭画報」4月号の特集記事「学び舎の桜」に掲載されたもので、左から2人目のアカデミックガウンを着た紳士は、撮影場所の国際基督教大学 (ICU) 副学長で、当クラブのメンバーのロバート・エスキルドセンさん (ロブさん) です。(本号巻頭メッセージ執筆者) 素敵な赤いアカデミックガウンと帽子はロブさんが自身がスタンフォード大学の卒業式で装着されたものと聞きました。先生のご専門は近代日本史で、以前、卓話で伺ったお話は、専門的かつ興味あるものだったことを記憶しています。 TI記



国際基督教大学 (ICU) 学生たちの卒業を祝うロバート・エスキルドセン副学長 (右から3番目) は、この桜並木は平和を願うマクドナルド牧師からの贈り物。平和な世だからのごち、愛でられます。

ご案内

今年度の東日本区大会は宇都宮で開催されます。メンバーの皆さんはもとより、ワイズ活動にご関心の読者の皆様も是非ご参加ください。今年度のワイズの総決算であり次年度に向けてのスタートでもある区大会は、盛り沢山のプログラムを準備して皆さんの参加をお待ちしています。

ご案内

第31回アジア太平洋地域大会が、本年8月1～3日の間、“For Greater Joy!”のテーマで熊本にて開催されます。国際協会西日本区がホストで開催されますが、我々が所属する国際協会東日本区が協力するものです。

案内のチラシに掲載された一文を以下に転載しますので、クラブメンバーの皆さんも是非関心を持っていただき、アジア大洋州で活躍する海外のワイズ達との交流を楽しまれては如何でしょうか。

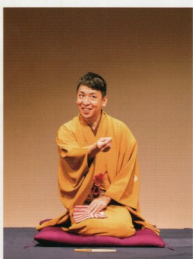
詳しい情報は、QRコードから！



第28回 ワイズメンズ国際協会東日本区大会
宇都宮大会 2025年6月7日(土)
於:ライトキューブ宇都宮(JR宇都宮駅直結)

大会テーマ

ユース・エンパワーメントの実現
Y's×SDGs Youth Action



特別プログラム
笑点新レギュラー(2024年4月～)
立川晴の輔 師匠
落語会



ライトレールに乗りに来らっせ!!!
餃子とクラフトビールの夜!

～案内チラシのアピール文～

今回のような国際的な大会を九州の地方都市で開催するのは初めてですが、中世からの趣をなお残す熊本城に代表される歴史・文化や雄大な阿蘇をはじめとする豊かな自然、そして清らかな湧水が育む美味しい食材に恵まれた地であり、大会テーマの『For Greater Joy!』を大いに満喫いただけるものと存じます。加えて、地元の夏祭りの「火の国まつり」も開催中ですので、街の熱気で、暑ささえも楽しみいただけると幸いです。

7月30日～8月3日阿蘇YMCAキャンプ場にて開催される、AYC (アジア太平洋地域ユースコンボケーション) についての詳細は追ってお知らせいたします。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

卓話ご案内

6月のクラブ本例会（6月27日）での卓話をお願いしている黄さんからご提出いただいた略歴を以下にご紹介します。現在、横浜YMCAの常議員会議長を務められる黄さんは、学生の頃よりYMCAとのかかわりを持ち続けておられます。なお、当日の卓話のテーマは「YMCAと在日台湾人2世の私」です。

黄 崇子さん (シ・ツオンツウ/ こう・たかこ) (江夏崇子) ~略歴~

1958年 神奈川県にて在日台湾人の父と日本人の母の長女として生まれる。

1976年 帰化。

1981年 青山学院大学文学部卒。在学中に関田アドグルを通し日本YMCA同盟学生部夏期ゼミナルに参加、以降、学生YMCA、SCM現場研修、NCC日韓青年協議会などに関わる。日本ユネスコ協会連盟事務局アルバイトを経て、幼い難民を考える会 (CYR) カンボジア難民キャンプスタッフ (タイ)。またこの頃より、台湾の政治犯を救う会に参加。

1982年 学生YMCA世界組織のWSCF HRD'82Thaiで研修。(タイ)

1983~1984年 学生部よりWSCFを通し、FIM研修生として台湾基督長老教会SCM及び輔仁大学、東海大学へ留学。戒厳令下の台湾で民主化運動への関与を問われ強制出国、帰国。(台湾)

1986年 協和物産パート勤務、横浜勤労者ユニオンに参加。(横浜・中華街)

1989年 神奈川新聞社入社

1995年頃~台湾の元「慰安婦」阿媽と出会い、裁判を支援する会に参加。

1998年~横浜中央YMCA運営委員

2001年~横浜YMCA常議員 (2023~議長) 他

2004年~日本YMCA同盟常議員 (12~15同盟副会長)

2006年~同学生部委員 他に中期計画、加盟退除・組織検討委員など

2023年 神奈川新聞社退社、在職中より家族介護。

無教会駒込キリスト聖書集会所属。



Photo Memory

今年もクラブ恒例の「富士山例会」の計画が進められています。昨年、他クラブの皆さんも交えて、富士山YMCAで過ごしたひと時は忘れえぬ思い出となりました。今年も素敵な時が持てますよう！



2024年5月の富士山例会の様子。最高！



▼厳しかった冬も去り、桜の盛りも過ぎていよいよ春から初夏に向かいます。初夏のメインイベントは恒例の「富士山例会」今年も準備が進められています▼不覚にも編集子は病を得て今年の富士山は断念せざるを得ませんが、参加される皆様を楽しませたい▼秋の年中行事は何と云ってYou & Iコンサート。今年は長年利用してきた都筑公会堂が改修工事使えなくなり心配されたが、新に建てられた都筑区民文化センター、通称、ポツシユホールの使用が内定し安堵している。気分一新で素敵なコンサートが開催できることを期待したい▼編集子以外にも複数のメンバーが健康を損ねている。お互い、十分気を付けて、しっかりと休養して再起を図りたいと思う。来年の富士山例会には全員で参加できるように！

(編集子)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”